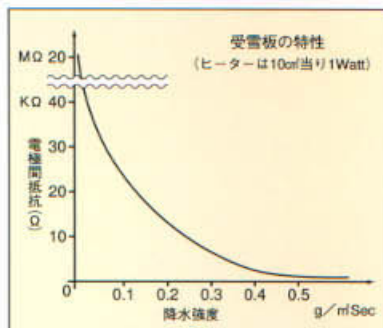


特長

- カーボン電極は耐蝕性に優れ、排ガス・酸性雨に腐蝕分解することなく特性が安定しています。
- 耐熱性が良好で、110℃まで破壊されず、また剥離を生じることはありません。
- 電極間の抵抗は降水強度に反比例し、0.01gの水分から検知可能です。(右図参照)
- 受雪面全体が加熱されており、雪を残さず誤動作しません。
- 受雪板の主ヒーター、補助ヒーターは降雪の強弱により自動的に発熱量が切り替わります。
- 筐体はステンレス鋼板(SUS430)を使用しており、防錆対策は万全です。



カーボン電極・水分センサー

傾斜した合成樹脂の受雪板の表面に含炭素合成樹脂を楕円に噛み合わせて接着し、降水強度を検出する電極にしています。

サーミスタ・雪温センサー

雪温(外気温)用センサーです。(温度の変化を抵抗値で検出します。)



補助ヒーター

受雪板全体を補助ヒーターでつつんでいるため、雪を残さず誤動作しません。(SNKシリーズのみ)

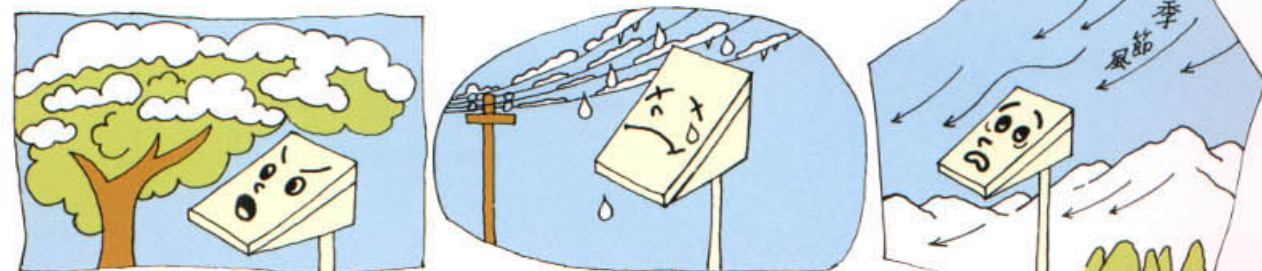
接続ケーブル

標準5m付属です。その他延長のときは御指示下さい。(別販)

受雪板の取付け方法

受雪板の傾斜面は季節風のやってくる方向へ向けます。受雪板の高さは積雪や交通の障害とならない程度の高さなるべく低いところに設置します。また、上方に家の軒先、電線、樹木等がないところへ設置してください。それらから落下する雪や水滴が誤動作の原因になります。

●このような場所の設置はさけてください。



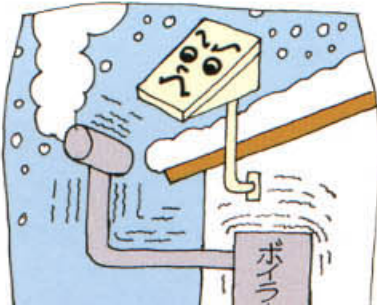
木の下受雪板

電線下の受雪板

風下へ向けた受雪板



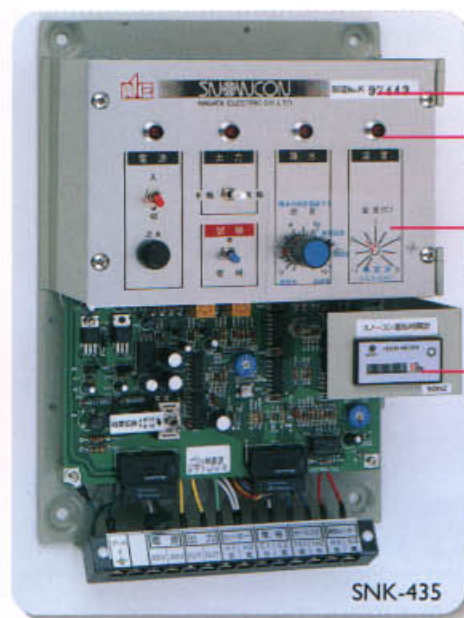
軒下の受雪板



熱源のすぐ近くの受雪板



軒下の中の受雪板



製造番号 試験出荷時の製造No.です。受雪板にも同じNo.がついています。必ずNo.を組合せてご使用下さい。

表示ランプ 「電源」「出力」「降水」「温度」の動作表示ランプです。

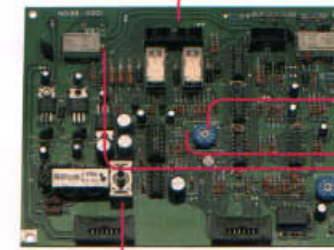
●スイッチ・ボリュームの標準設定位置

スイッチ・ボリューム名称	標準設定位置	動作説明
入・切	入	スノーコン本体の電源スイッチです 冬期以外は「切」にしてください
手動・自動	自動	手動・自動の切替スイッチです 「手動」では無条件で出力がONになります
降水感度	7~8 ※	0...降雪時でも降雪出力がONになりません 10...降水が少しの粉雪でも降水出力がONになります
雪温	+0.3℃ (固定のこと)	設定温度より温度低下の状態では出力がONになります (-1~+3)

※冬期・検知感度が確認できたら、節水・経済性を見地から感度を(6~7)まで順次おとして下さい。

積算時間計がついているので運転状況が監視できます。
(SN-SNK, 415・405・435標準品)

主基板



コネクタ 制御部本体と主プリント基板の接続コネクタです。

オンディレー時間調整

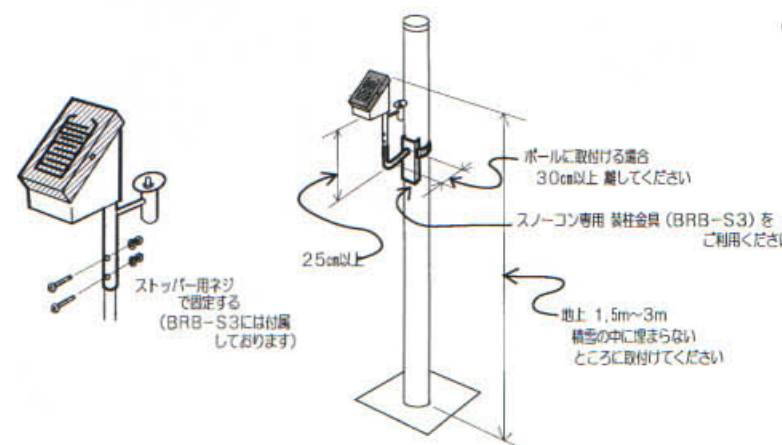
誤動作防止のため降雪出力信号を約1分(SNKシリーズは約2分)遅らせています。(上記の動作表示ランプ<緑色>です)

オンディレー時間終了後、降雪信号出力時赤ランプが点灯します。

降水感度調整 受雪板の感度補正用ボリュームです。

切替スイッチ 降雪停止後の遅延タイマー(3分・15分)の切替スイッチです。

受雪板の設置例



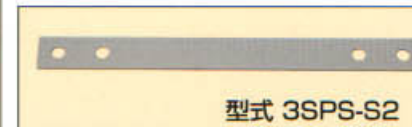
◎取付方向

通常季節風の吹く方向に受雪板を向けて下さい。建物の側面に取付ける場合は左記柱類に準じて突出金具(TVアンテナ部品等)を利用して下さい。

取付金具



受雪板取付金具



本体取付金具

型式 BRB-S3

受雪板を電柱・ポール等に取り付ける場合に御利用下さい。

型式 2SPS-S2

屋外型本体を電柱に取り付ける場合にはこの装柱金具を御利用下さい。

型式 3SPS-S2

本体を壁面に取り付ける場合に御利用下さい。

※取付金具は別売品です。